

「第1期データヘルス計画への取組で次のアクションが見えた」

東京大学 政策ビジョン研究センター 古井祐司

全国健康保険協会データヘルス計画推進会議・委員

はじめに

全国・中小企業の健康づくりに関して、
協会けんぽだからこそ実現できることがあります。

■ 病気になるもっと前からの「健康・生活状況」と「治療中の受診行動」の両方を把握できます。

効果的な事業設計

■ 他の職場との比較で自組織の特徴が客観的にわかります。

事業主を動かす素材

■ 最新研究から被保険者の健康状況に大きな影響を与えることが示された「職場」に働きかける保健事業を実施できます。

働き盛り世代への最大武器

1 第1期の取組で問題の本質が見えてきた

- 課題の構造化で打っ手がわかる -



データヘルス計画で健康課題の構造が見えてきます。

第1期データヘルス計画での準備体操により、第2期・本格稼働する際に意識すべき点がわかります。



健康課題と保健事業との紐付け（例）

職場環境の整備

加入者への意識づけ

個別の事業

健康課題

対策の方向性

事業の名称

- ・ 被保険者は男性が約8割と多い。
- ・ 特に、40歳代の男性が多い構成である。
- ・ 被扶養者は、子供を除くと女性が多い。
- ・ 55歳から一人あたりの医療費が大きくなっている。
- ・ 生活習慣病系疾患の医療費が大きい(従業員(被保険者)においてはより顕著である。55歳から一人あたり医療費が大きくなっているのは、生活習慣病医療費増が影響と推測できる)。
- ・ 生活習慣病リスクが高リスクであるものが、多くはないが一定数存在している。
- ・ 医療機関未受診の超高リスク者もいる。
- ・ 男性従業員には、生活習慣病リスク保有者が多い。

- ・ 生活習慣病対策が必要である。
- ・ 加入者の年齢構成上、今後、加齢により医療費が大きくなる可能性がある。この年代において、生活習慣病対策は重要となる。
- ・ 若年のうちから、生活習慣病に関心を持ってもらい、生活習慣改善に取り組んでほしい。そのための情報提供や運動促進の取組を全体に向けて実施したい。
- ・ 特定保健指導を確実に実施したい(若年者から実施したい)。
- ・ 高リスク者への対応も可能な範囲で実施したい。
- ・ 受診勧奨や保健指導などを事業主の産業保健とも連携して取り組みたい。

- ・ 被扶養者においては、乳がんの医療費が高いことが確認できる。乳がんは検診による早期発見・治療が可能なので、対策に努めたい。

- ・ 乳がん対策として、乳がん検診の受診率を高める必要がある。(併せて、子宮頸がん対策にも取り組みたい。)

- ・ 男性の喫煙率はやや高い(全国平均値と同じくらい)。

- ・ 喫煙対策を実施したい。

該当なし

健康課題・対策の方向性が整理されていないため、事業との紐付けが困難な例

トップマネジメントからの健康経営宣言

広報誌制作

育児指導書の配布

医療費Web通知

ウェブツールを用いたセルフケアシステム

特定健診(オプション検査含)

特定保健指導

健康イベントの開催

健康診断・人間ドック(オプション検査含)

家庭用常備薬の斡旋

インフルエンザ予防接種費用補助

歯科健診

重症化予防: 専門医の紹介等

宿泊型特定保健指導 5

資料) 厚生労働省 レセプト・健診情報等を活用したデータヘルスの推進事業 (平成28年度)

循環器疾患の医療費が高い（例）

- 脳梗塞の医療費
; 特定の高リスク者
(40代入院・50代外来)

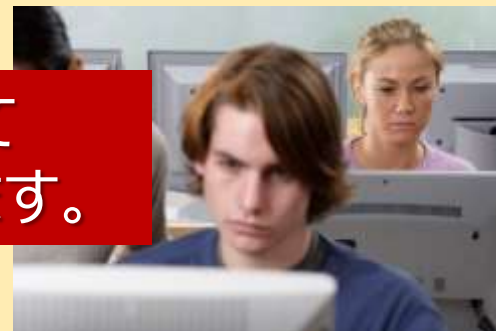


構造によって
対策が異なります。



受診勧奨および
その際の生活習慣への働きかけ、
モニタリング

- 高血圧の医療費
; 40・50代の男性



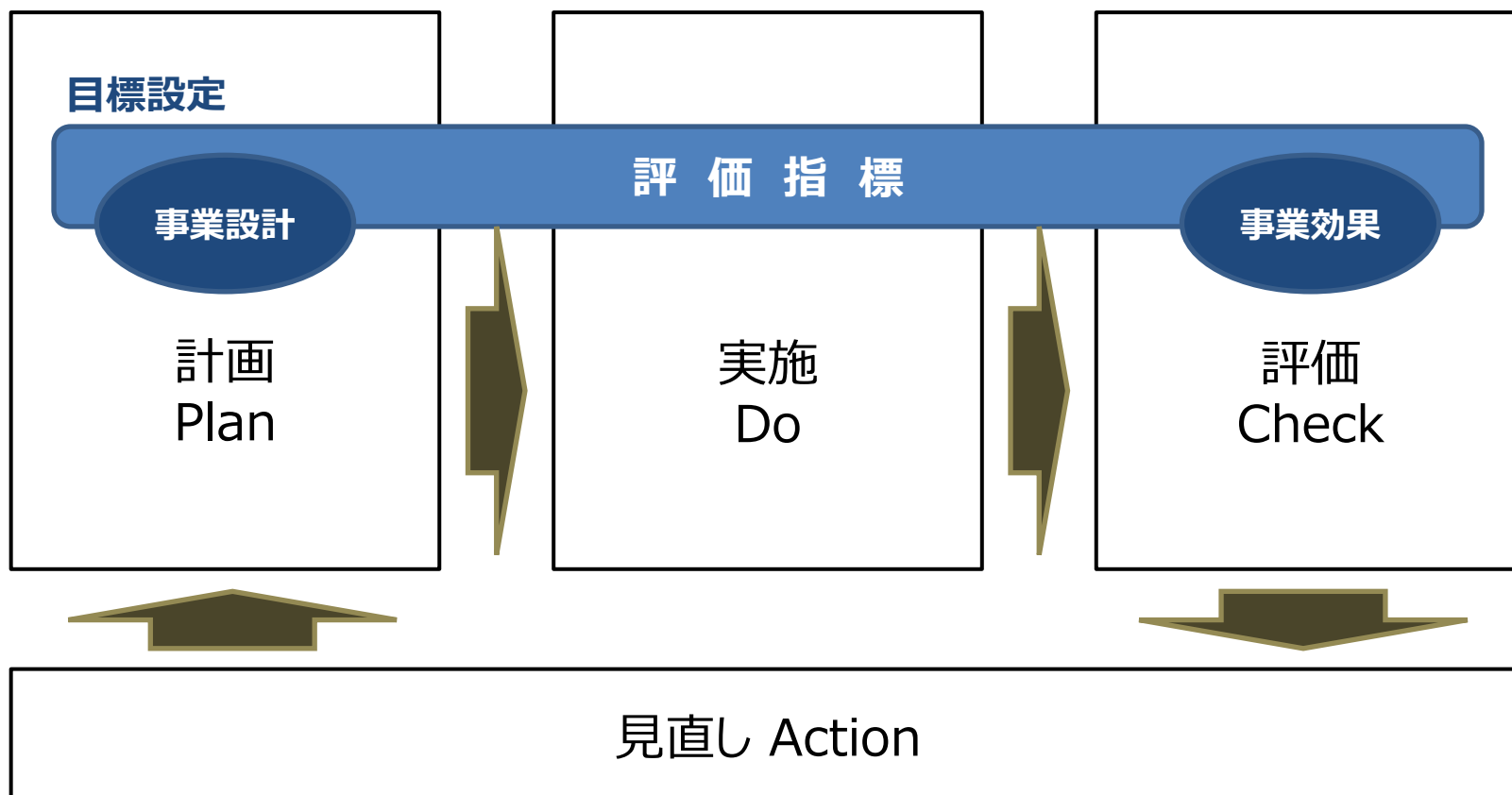
残業前の血圧測定、
毎時の休憩・ストレッチ

2 第2期データヘルス計画を設計するポイント

- 目標を達成する評価指標の設定 -



データヘルスの事業運営における「評価指標」の役割

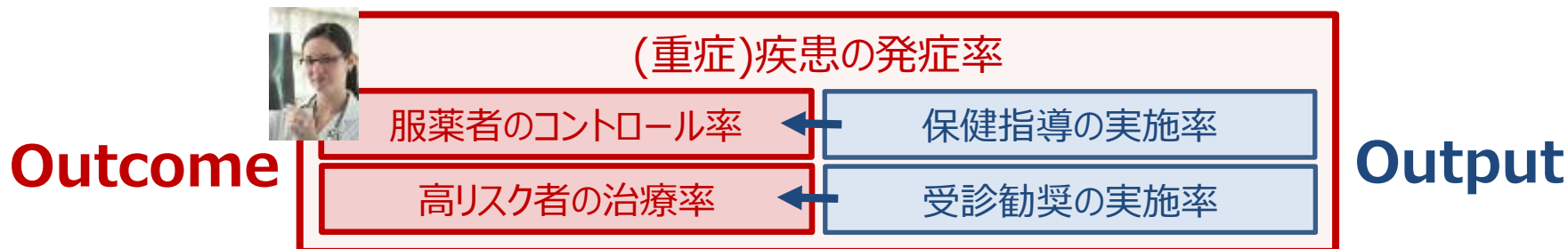


目標を達成するよう個別事業を組み立てます ; (例)重症化予防事業

健康課題 ; 糖尿病等の重症化に伴う医療費が支部間比較で高い。

目標 ; 重症疾患の発症率を下げる(ことで医療費削減を図る)。

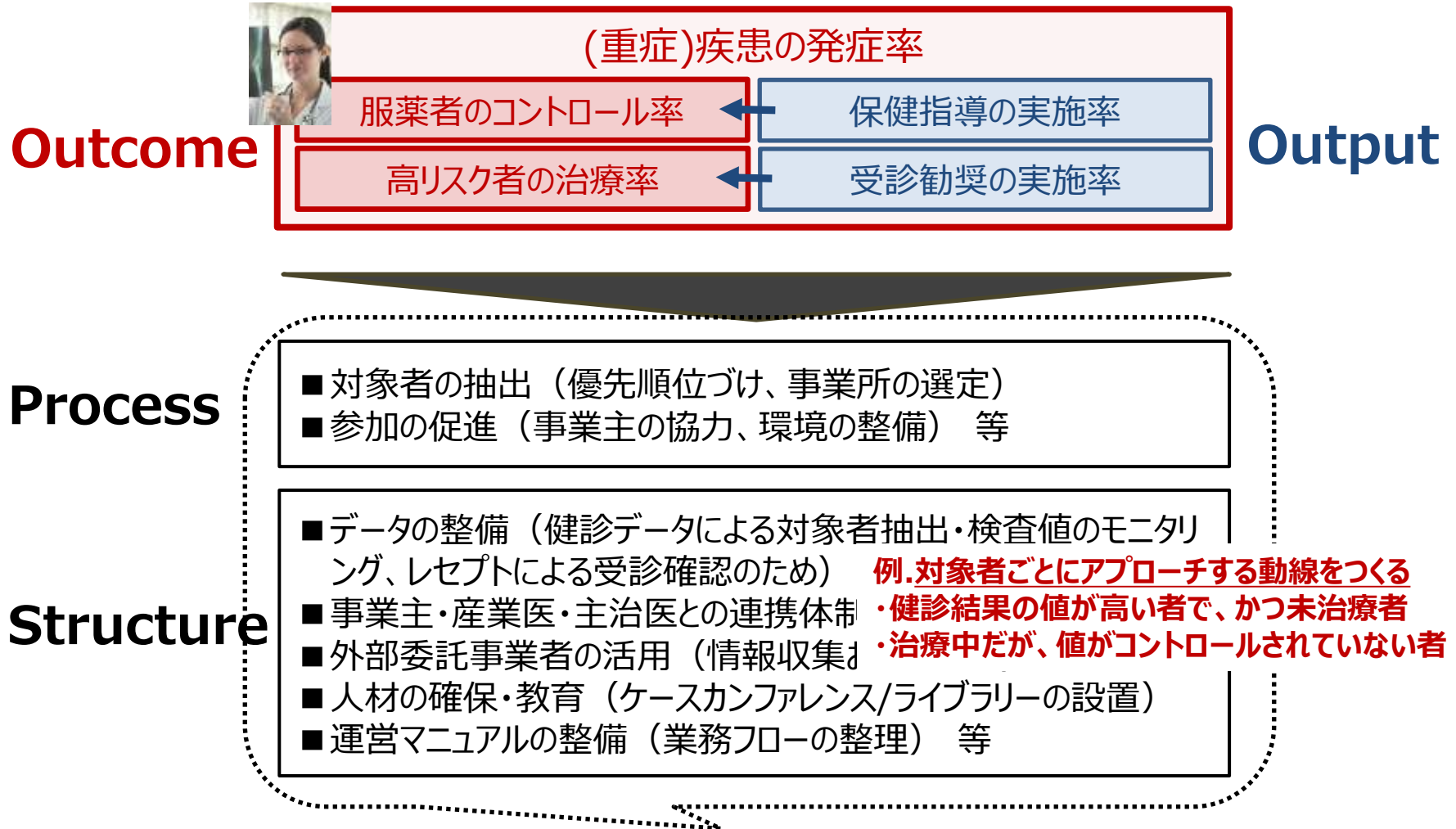
評価指標 ; 最終的な指標となる「重症疾患の発症率」を意識して、中間的な指標を設定します。



事業設計 ; 対象、方法・内容、体制を組み立てます。

目標を達成するよう事業の構造を意識して組み立てます。

目標 ; 重症疾患の発症率を下げる(ことで医療費削減を図る)。



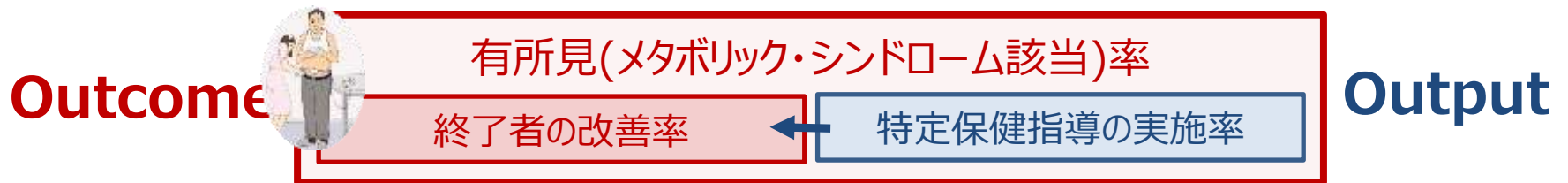
目標を達成する視点で対象・方法(過程)・体制を組み立てます。

目標を達成するよう個別事業を組み立てます；(例)特定保健指導事業

健康課題；メタボリック・シンドローム該当者の割合が高い。

目標；特定保健指導の実施率を上げることで該当者を減らす。

評価指標；最終的な指標となる「メタボリック・シンドローム該当率」を意識して、中間的な指標を設定します。



事業設計；対象、方法・内容、体制を組み立てます。

目標を達成するよう個別事業を組み立てます ; (例)特定健診事業

健康課題 ; 脂質・血糖・血圧等が高い者が増えている。

目標 ; 特定健診の実施率を上げて健康維持を図る。

評価指標 ; 最終的な指標となる「健康維持(悪化)率」を意識して、中間的な指標を設定します。



事業設計 ; 対象、方法・内容、体制を組み立てます。

おわりに



集団として効果が上がった職場は...

加齢等に伴う悪化が減少！

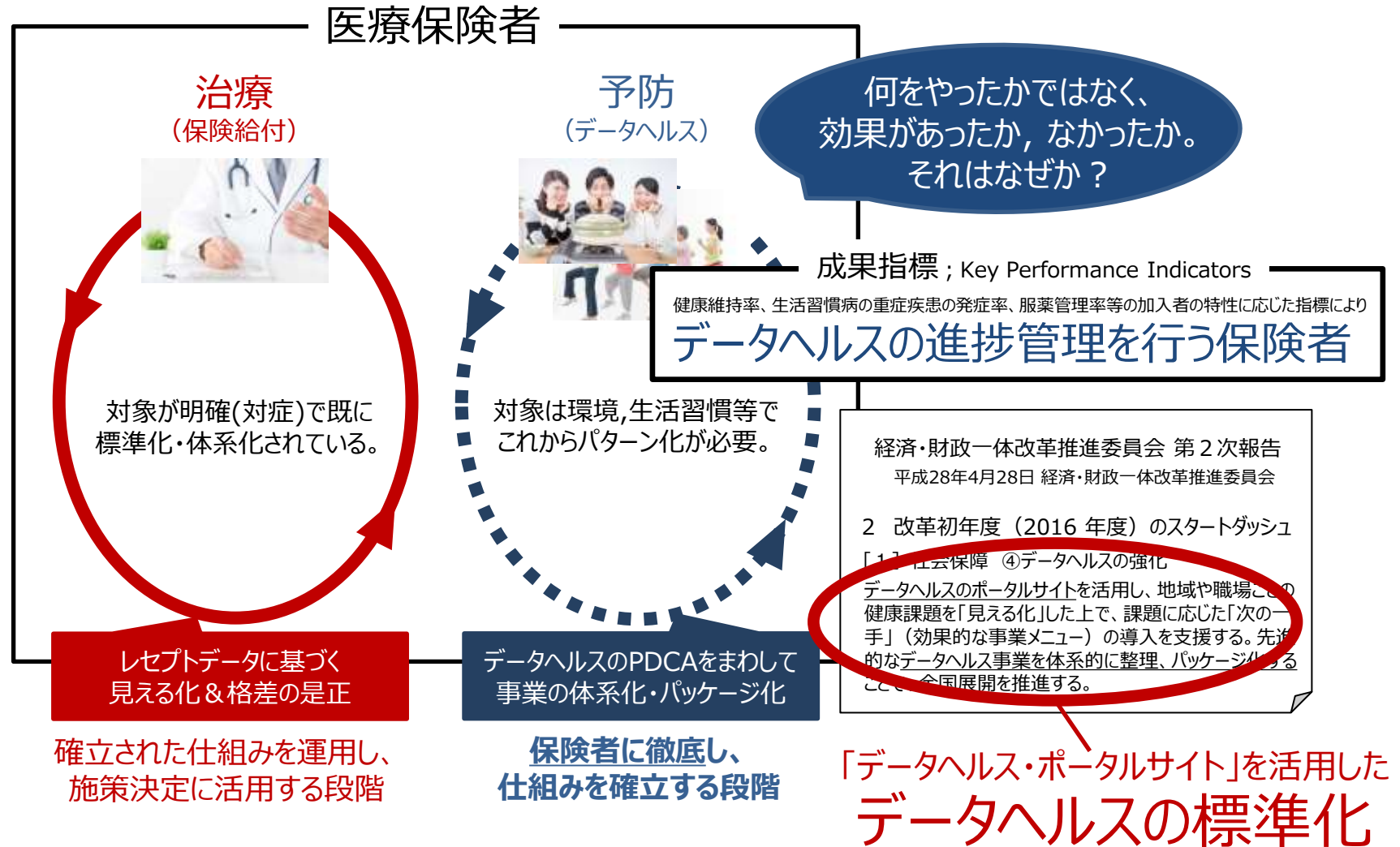
悪化

改善

特定保健指導の実施率が5割超

中小規模事業所での実効性は高い！！
職場・集団の健康維持と
プログラムの浸透

データヘルスの徹底による健康・予防施策の確立に関して



資料) 経済・財政一体改革推進委員会,2016 一部加筆

「保険者における予防・健康づくり等の取組の推進に当たって共通的に評価する指標」

医療費



(重症)疾患の発症率

服薬者のコントロール率

保健指導の実施率

高リスク者の治療率

受診勧奨の実施率

指標⑤適正受診
指標⑥後発医薬品

指標③重症化予防



有所見(メタボリック・シンドローム該当)率

終了者の改善率

特定保健指導の実施率

指標①メタボ該当率

指標①特定保健指導



受診者の健康維持(悪化)率

受診者の行動変容率

情報提供の実施率

特定健診の実施率

指標④情報提供(イセソテイブ)

指標①特定健診

指標②その他検診

Outcome



Output

まとめ

- 第 1 期の検証から、効果が上がった取組の構造がわかってきました。
- 第 2 期はデータヘルスの標準化(パターン化)のもと PDCAをまわすことで効果が上がりやすくなります。

労働者の平均年齢が1970年代から7歳上がったことなどに伴い、職場の健康リスクは2倍に上昇し、生産性の低下および社会保障費の増加が進む社会構造となっている。超少子高齢社会・日本においては、発症後に資源を投入する従来の医療・介護モデルから、集団の全体最適を図る「健康増進・予防モデル」へのダイナミックな政策転換が必要となる。